

〈論文〉

BCCWJ に基づく「てくれる」構文の分析

— 日本語上級学習者の非用解消に向けて —

栗 田 奈 美

要 旨

日本語学習者にとって難易度が高いとされる「てくれる」構文の中でも、特に「雨が降ってくれた」のように主語が恩恵を施す意図を持たない用例は、上級学習者であってもなかなか産出されにくい。本稿では、「現代日本語書き言葉均衡コーパス (BCCWJ)」を用いて「てくれる」構文の使用実態を明らかにし、特に学習者の非用が目立つ用例に焦点を当て、適切な位置づけを与えることを試みた。その結果、これらの用例が一定以上の割合で存在し、主語が無生物の場合や人であっても恩恵意図を持たない場合、さらには恩恵の受け手が広く人間一般である場合など、豊かなバリエーションを持つことが明らかになった。さらに、主語が恩恵意図を持たないにもかかわらず、我々人間がその事態に恩恵性を見出そうとする場合、使役表現の使用や擬人化等の操作により、主語が意図的にその事態を生じさせているかのように把握し、その上に「てくれる」構文を重ねることで、当該事態に対する感謝や好ましさを明示する傾向があることが示唆された。

キーワード：「てくれる」構文、恩恵性、BCCWJ、日本語学習者、非用

1. はじめに

日本語の授受動詞「やる (あげる)」, 「くれる」, 「もらう」ならびにそれら本動詞からの拡張による補助動詞「てやる (てあげる)」, 「てくれる」, 「てもらう」は、日本語学習者にとって習得困難な項目とされている。そ

の主要因として、以下の2点が挙げられる。一つは、授受動詞が視点と方向性から三系列に分かれている点である。仕手視点の表現には「やる」と「くれる」、受け手視点の表現には「もらう」があり、さらに、話者から見て遠心的な方向性を持つ表現には「やる」、求心的な方向性を持つ表現には「くれる」と「もらう」が用いられる（山田 2000, 2004）。これは、例えば英語の“give”, “receive”のように、二系列しか持たない言語の母語話者にとっては困難な点となる。もう一つは、日本語では描写しようとする事態が当事者にとって好ましいかどうか言語化される傾向が強い点である。好ましい場合は「てくれる」等の受益構文（benefactive construction）が、そうでない場合は受動構文が使用される。この傾向は、多くの言語で日本語ほど顕著には見られないようである（益岡 2001）。

以上の2点の要因に加え、「てくれる」構文には、同じ仕手視点表現である「てやる」と非対称をなす用例があり、難易度を高めていると言える。例えば「雨が降ってくれた」が適格である一方、「雨が降ってやった」は不適格となる。

そのため、特に「話し手のコントロールが及ばない、話し手の力の範囲外で出来た事態が話し手にとって好ましいものだったことを表現するものは、上級レベルの日本語学習者にも理解しにくく、産出も難しい」（近藤 2009 : 94）結果となり、いわゆる非用⁽¹⁾の状態となっている。以下は近藤の例文である。

- (1) あ、丁度いいところに来てくれた。ちょっと手伝って。
- (2) 子どもが寝ていてくれたので、たまっていた仕事が片付いた。
- (3) うち是一人っ子だけど、近所に同い年の子どもがいてくれて、よく遊んでもらった。（近藤 2009）

一般的に、日本語教育では初級半ばから後半にかけて受益構文を導入す

るが、それ以降は段階的に難易度を上げて用例を教えていくことが少ないように思われる。「てくれる」構文についても、非用を解消するにはどのような場面で使われ、どのような文が可能なのか、体系立てて導入していく必要がある。本稿は、「現代日本語書き言葉均衡コーパス（Balanced Corpus of Contemporary Written Japanese）」を用いて「てくれる」構文使用の実態を明らかにし、特に学習者の非用の目立つ構文に焦点を当て、適切な位置づけを与えることを目的とする。

2. 先行研究

2.1 「てくれる」構文の特徴

「てくれる」構文に関しては、数多くの先行研究が存在し、示唆に富む知見の蓄積がある。まず、山田（2000, 2004）は「てくれる」構文を、受益者が事態の中核をなす動詞の項になっているか否かによって、以下の2種に分類している。

(4) a. 田中は私に本を売ってくれた。（直接テクレル受益文）

b. 田中は私のために走ってくれた。（間接テクレル受益文）

（山田 2000：100）

(4) a. の「直接テクレル受益文」は初級レベルで導入する構文であるが、b. の「間接テクレル受益文」は、特に「私のために」といった付加詞がなく、恩恵性が明示されていない場合、学習者にとって難易度が高くなることが予想される。

また、山橋（1999a：94）は、以下の例から「てくれる」が「周りで起こるある出来事を話し手⁽²⁾ がとらえ、それに対して利益・恩恵を感じることを表す」ものだとしている。

- (5)a. ありがたいことに、子供がすくすく育ってくれる。
- b. 嬉しいことに、きれいな花が咲いてくれた。
- (6) 先生はうちの子から漫画をとりあげてくれた。

(5) では「ありがたいことに」, 「嬉しいことに」と共起し, (6) では行為の受け手である「うちの子」にとって利益とならない事態を「てくれる」構文で表している。このことから, 利益・恩恵を感じているのは話し手であると論じられている。本稿も, 山橋の考察を踏襲することにする。

2.2 「てくれる」構文の種類

澤田 (2014) は, 「くれる」と「やる」の授与動詞構文を本動詞型 (A 型) と補助動詞型 (B 型) に二分し, さらに後者を 4 つの構文型に分類している。それぞれの型と用例ならびにその構造は以下の通りである。

- (7)a. A 型: X が Y に Z を クレル／ヤル
- b. B1 型: [X が Y に […Z を V] テクレル／テヤル]
- c. B2 型: [X が […V] テクレル／テヤル]
- d. B3 型: [[(X が) …V] テクレル／*テヤル]

- (8) 太郎が 花子に お年玉を くれた／やった (A 型)
- (9)a. [太郎が 花子に *i* [花子に *i* 花を贈っ] てくれた／てやった] (B1 α 型)
- b. [太郎が 花子に [花を摘ん] でくれた／でやった] (B1 β 型)
- (10) [太郎が [花子を褒め] てくれた／てやった] (B2 型)
- (11) [[雨が降っ] てくれた／*てやった] (B3 型)

(7)b. c. d. (いずれも B 型) の内側の角括弧は「てくれる／てやる」の補部を構成する要素を表し、「…」は動詞 V が取り得る格成分を表す。また、B1 型は前項動詞のクラスによって下位区分されており、前項動詞が与格名詞句を項に取る (9)a. は B1 α 型、取らない (9)b. は B1 β 型とされている。なお、(9)a. の「i」は同一指示を示す標識である。これら 4 つの B 型の構文型は、「物の授与性（基準Ⅰ）」、「主語の恩恵を施す意図（基準Ⅱ）」、「前項動詞のクラス（基準Ⅲ）」、「授与動詞が取る項の数（基準Ⅳ）」の 4 つの基準により分類されている。

まず、B1 型は α 型、 β 型ともに物の授与的意味を残しており、主語名詞句（有生物）は恩恵を施す意図を有する。項の数は「X ガ」「Y ニ」「動詞句」の 3 つである。 α 型の前項には「物の授与・移動」を表し、与格名詞句が生起可能な 3 項動詞（例：教える、送る、貸す）が生起する。一方、 β 型の前項には作成動詞（例：作る）や獲得動詞（例：買う）（いずれも 2 項動詞）が入り、物の授与の「前段階」の行為を表す。次に、B2 型は物の授与性は失っているが、主語名詞句（有生物）は B1 型同様、恩恵意図を有する。前項動詞は「行く」、「いる」等の非能格自動詞を含む意志動詞一般にまで生起範囲が広がっており、項の数は「X ガ」「動詞句」の 2 つである。最後に、B3 型は物の授与性を持たず、主語名詞句（有生／無生物）も恩恵意図を持たない。前項動詞は意志動詞に加え、非行為的な変化を表す無意志動詞（例：雨が降る、物価が下がる）も生起できる。項の数は、事象（節）全体を項に取っているため、1 つである。以上をまとめたものが、表 1 である。

澤田は明確な基準によって類型を立てている点が画期的で、非常に有益な研究である。一方で、本稿が目指す、主語が恩恵意図を持たない間接的な種々の「てくれる」構文は単一のカテゴリー（B3 型）にまとめられており、その詳細な実態までは明らかにされていない。例えば、以下の 2 文はいずれも主語に恩恵意図のない用例であるが、事態把握の仕方には違

表 1 日本語授与動詞の各構文型の諸特徴（澤田 2014：44）

	A 型 (本動 詞型)	B 型（補助動詞型）			
		B1 型		B2 型	B3 型
		B1 α 型	B1 β 型		
基準Ⅰ：物の授与性	○	△	△	×	×
基準Ⅱ：主語の 恩恵を施す意図	○	○	○	○	×
基準Ⅲ：前項動詞の クラス		所有変化動詞, 位置変化動詞, 所有・位置変 化動詞	作成動詞, 獲得動詞, 対象変化動 詞（一部）	意志 動詞	意志動詞, 無意志 動詞
基準Ⅳ：授与動詞が 取る項の数	3	3	3	2	1

いがあるように思われる。

(12) 雨が降ってくれた。 (11) を再掲)

(13) 自然が人々に豊かな恵みを与えてくれる。 (森田 2002：229)

いずれも自然の恩恵に感謝する内容である点と、主語が無生物で恩恵を施す意図を持たない（基準Ⅱ）点は共通している。一方で、(13) は基準Ⅱを除くと B1 α 型の特徴と合致し、「与える」という所有変化動詞（与格名詞句が生起可能な 3 項動詞）を前項に持つものである。本稿では、(13) のような例を含め、主語に恩恵意図のない間接的な（つまり学習者にとっては非用となりやすい）「てくれる」構文がどのようなバリエーションを持ち、どのような場面で用いられるかに焦点を当て、コーパスを用いて検証していく。

3. コーパス調査の概要

本稿で利用したコーパスは、国立国語研究所の「現代日本語書き言葉均衡コーパス（Balanced Corpus of Contemporary Written Japanese）」（以下 BCCWJ）短単位データ 1.1 バージョンである。コーパス検索アプリケーション「中納言」を用いて「てくれる」のコアデータ⁽³⁾を検索し、532 件の用例を得た。検索条件式は以下の通りである。

キー：語彙素 = “呉れる” AND 前方共起：書字形出現形 = “て” ON 1 WORDS FROM キー IN ((registerName = “出版・新聞” AND core = “true”) OR (registerName = “出版・雑誌” AND core = “true”) OR (registerName = “出版・書籍” AND core = “true”) OR (registerName = “特定目的・白書” AND core = “true”) OR (registerName = “特定目的・知恵袋” AND core = “true”) OR (registerName = “特定目的・ブログ” AND core = “true”)) WITH OPTIONS tglKugiri = “|” AND tglBunKugiri = “#” AND limitToSelfSentence = “1” AND tglFixVariable = “2” AND tglWords = “50” AND unit = “1” AND encoding = “UTF-16LE” AND endOfLine = “CRLF”

今回は恩恵意図との関連から検証を行うため、「何てことしてくれたんだ」等の非恩恵用法 5 件は除外した。また、森田（2002）によると、「くれる」（断定形式）は相手側が働きかけた結果、己が利益を受ける「他行自利」であるが、「くれ」（命令形式）になると己側から要求として相手に働きかけ、その結果己が利益を受ける「自行自利」に変わるという。このような違いに加え、今回は特に（12）の「雨」や（13）の「自然」のような無生物主語にも焦点を当てることから、命令形「くれ」が使用されてい

た 45 件と、「てくれないか」等が含まれる依頼表現 14 件も除いた。その結果、分析対象とするデータは 468 件となった。

具体的な調査内容は、①澤田による 4 分類別データ件数、②「てくれる」と共起しやすい前項動詞、③「利益・恩恵の与え手（主語名詞句）」の属性別データ件数、④「利益・恩恵の受け手」の属性別データ件数、⑤主語が恩恵意図を持たない用例（B3 型）の特徴の 5 項目である。次節では、それぞれの調査結果と考察を順に述べる。

4. 調査結果と考察

4.1 澤田による 4 分類別データ件数

それぞれの構文型が実際にどの程度使用されているかを見るために、型ごとのデータ件数を調べた。4 分類へのデータの振り分けは、「利益・恩恵の与え手（主語名詞句）」、「利益・恩恵の受け手」、「前項動詞」をリストアップした上で、基準ⅠからⅣに照らし合わせて行った。澤田にも指摘されているように、同一の動詞が複数の構文型にまたがって現れることや、2 つの型の間隔的な性格を持つ用例もあったため、最終的には筆者の判断によって振り分けた。

結果は、データ総数 468 件中、B1 α 型 119 件 (25.4%)、B1 β 型 27 件 (5.8%)、B2 型 197 件 (42.1%)、B3 型 125 件 (26.7%) であった。以下に、実際の用例を紹介する。

- (14) 薬はスタッフが自転車で自宅に届けてくれる。⁽⁴⁾（長野宏美『サンデー毎日』2001 年 6 月 17 日号）【B1 α 型】
- (15) 料理が運ばれてくる。器用にハルコさんが小皿に取り分けてくれる。（高畑啓子『走り終わって考える』）【B1 β 型】
- (16) おとうさんが背中を支えてくれ、全身の力を抜くとふわりと体

が波に浮かんだ。（角田光代『キッドナップ・ツアー』）【B2 型】

- (17) 南側の庭に植えてあるエゴノキ。去年は数えるくらいしか花が咲きませんでしたが、今年はたくさんの花を付けてくれました。（Yahoo! ブログ）【B3 型】

今回は主語が無生物の場合、恩恵意図を持たないものとしてすべて B3 型に含めたこともあるが、B3 型が全体の 4 分の 1 を占める結果となった。この割合を考慮すると、この型の構文は日本語教育現場でもより重視する必要があるものと思われる。

4.2 「てくれる」と共起しやすい前項動詞

次に、「てくれる」と共起しやすい前項動詞にどのようなものがあるかを調べ、その傾向を見た。データ件数が 5 以上の前項動詞を表 2 に示す。群を抜いて多い「教える」を始め、「言う」、「見せる」、「貸す」、「説明する」、「話す」はいずれも二格が生起可能な動詞である。澤田は「教える」について「太郎は花子に自分の家を教えてやった。」を例に、ここでは家の位置情報が花子に渡っているために、物の授与的意味を有しているとし、B1 α 型に分類している。同様に「言う」、「説明する」、「話す」では発話内容（情報）が、「見せる」では視覚情報が授与されていると考えられるため、本稿ではこれらも B1 α 型に含めた。澤田はさらに「前項動詞と物の授与との意味的調和」という観点から、「B1 α 型に生起する動詞は、物の移動を含んでおり、物の授与行為と同時的關係を成す」ために、「授与動詞と自然な意味合成が可能であり、物の授与との意味的調和が高い」（45）と述べている。この意味的調和の高さが、B1 α 型の前項動詞のデータ件数の多さにつながったものと推察される。

データ件数 9 件の「作る」は B1 β 型に分類されるが、この型の前項動詞は物の授受の「前段階」の行為として解釈可能で、2 つの行為は継起的

表2 「てくれる」と共起しやすい前項動詞

前項動詞	データ件数	前項動詞	データ件数
教える	28	助ける	7
言う	17	なる	7
来る	17	やる ⁽⁵⁾	6
する	16	貸す	5
作る	9	説明する	5
見せる	9	話す	5
見（診）る	9	守（衛）る	5

関係をなすという。つまり、「作る」、「編む」のような作成行為や「買う」、「取る」のような獲得行為はそれに続く「物の授与」を推意させやすいため、今回の調査でも「作る」の頻度が高かったのではないだろうか。

「来る」のデータ件数の多さも興味深い。同じ直示動詞である「行く」はわずか2件にすぎなかったためである。「くれる」と同様に「来る」は求心的方向性を持つが、「行く」は遠心的方向性を持つ。したがって、「行く」より「来る」の方が「くれる」との意味的調和が高いために共起しやすく、データ件数に差が出たものと考えられる。

また、「見（診）る」、「助ける」、「守（衛）る」は恩恵的な文脈に現れやすいために、「てくれる」構文における頻度が高かったのであろう。「見（診）る」は「面倒を見る」や「医者が患者を診る」といった用例が大半であった。

最後に、表2には入っていないが、前項動詞に動詞の使役形（～せる／させる）が生起するケースも合計で22件見られた。そのうち3件は「プリンターを使わせてくれる」や「（料理を）作らせてくれる」といった「許可・許容⁽⁶⁾」を表すものであったが、それ以外はいずれも「楽しませてくれる」、「思い出させてくれる」「花を咲かせてくれる」のように、主語名詞

句による使役行為への「感謝」を表すものであった。以下に例を挙げる。

- (18) 車内に近所のオジイオバアが訪ねてきてくれて昔話や伝説を聞かせてくれるシーンが目には浮かぶ。（『FENEK』2004年3月号）
- (19) 車庫の後ろに植えてあるチェリーセージが早くも花をたくさん咲かせてくれました。「いちごミルク」という品種で、赤と白のかわいい花がいっぱいです。去年は晩秋まで花が咲き続け、株もかなり大きくなってきたので、今年も大いに楽しませてもらえそうです。（Yahoo! ブログ）

「てくれる」と「てもらう」を比較すると、依頼等の働きかけをせずに利益・恩恵が得られた場合には前者が、働きかけをした場合には後者が使用されやすいことが、先行研究（熊田 2001 他）から明らかになっている。「させてくれる」の場合も同様で、働きかけの結果による「許可・許容」の件数が少なかったものと考えられる。

興味深いのは、主語名詞句が有生物（人・組織）の用例が10件で、無生物（物・植物）の用例が12件と、無生物主語の方がデータ件数が多かった点である。次節で述べるが、全体では有生物を主語に持つ用例の方が圧倒的に多い。このことは、恩恵意図を持たないことが明らかな主語名詞句によって生じる、話し手にとって好ましい行為や変化（(19)では「花が咲く」「楽しむ」）に対し、何らかの感謝を表したいと考えた場合、我々人間がどのような表現を選択しているかを示している。つまり、そこに主語名詞句の恩恵性を見出すために、わざわざ使役形を用い、主語名詞句が意志を持ってその行為、変化をもたらしたと表現しているのではないだろうか。このように考えると、「主語名詞句＋使役表現＋てくれる」という構文の相対的な頻度の高さも説明できるように思われる。

4.3 「利益・恩恵の与え手（主語名詞句）」の属性別データ件数

「てくれる」構文の主語名詞句には「利益・恩恵の与え手」が入る。その与え手が恩恵を施す意図を有さない場合もあるため、厳密には、話し手が利益・恩恵を感じる出来事の主語であるが、ここでは便宜上「利益・恩恵の与え手」と呼ぶことにする。この恩恵意図の有無という観点から、与え手の属性として「人」、「組織」、「動物」、「植物」、「物」の5つのカテゴリーを立て、それぞれのデータ件数を調べた。「人」は恩恵意図を持つことができる「精神面の発達したある一定の年齢に達した人間」（山橋 1999a : 81）であるという前提があり、その点を考慮する必要があるが、今回のデータには「赤ちゃん」などの非常に幼い子供は含まれていなかった。一方で、神や霊、仙人が主語となる用例は複数見られた。これらは人間とは言い難いものの、恩恵意図を持つことができると考えられるため、「人」のカテゴリーに含めた。「組織」には、意思決定が可能で恩恵意図を持つこともできる企業、店、病院、大学、裁判所、国（政府）等が含まれる。また、「物」には具体物だけでなく、「話し合い」や「上質な質感」といった抽象物も含まれている。

結果は、データ総数 468 件中、「人」が 319 件（68.2%）、「組織」が 47 件（10.0%）、「動物」が 11 件（2.4%）、「植物」が 7 件（1.5%）、「物」が 84 件（17.9%）であった。これらのカテゴリーのうち、「人」と「組織」までが恩恵意図を有すると考えた場合、「利益・恩恵の与え手（主語名詞句）」のうち、恩恵を施す意図を持つものが 366 件（78.2%）、持たないものが 102 件（21.8%）となる。日本語教育現場で積極的に取り上げられることの少ない後者の用例が、2 割強という一定の割合を占めていることが分かった。

4.4 「利益・恩恵の受け手」の属性別データ件数

次に、「てくれる」構文における「利益・恩恵の受け手」の属性を調査した。2.1の(6)で示した「先生はうちの子から漫画をとりあげてくれた」の例から明らかなように、前項動詞の行為の受け手（うちの子）と利益・恩恵の受け手（話し手）とは異なる。本稿は「利益・恩恵の受け手」は原則的に話し手（書き手）であると考えた立場をとるが、その話し手（書き手）が特定の個人である場合と、話し手（書き手）を含むあるカテゴリーに含まれる人全般を指す場合がある。日本語教育現場で「てくれる」構文を導入する際に使用される例文は、大半が前者である。そのため、学習者が体系立てて教えられる機会の少ない後者が、実際の場面での程度使用されているのかを確認することは意義があろう。以下に両者の例を示す。

- (20) 主人が、「暇な時にしたらいいよ」と、弟からドラクエ4を借りてきてくれました。(Yahoo! 知恵袋)
- (21) a. 命に危険があつて患者が手を差し出しても専門外だと医者は診てくれないのかな？(Yahoo! 知恵袋)
- b. 泉二（もとじ）弘明社長は以前からメンズの着物に着目し、今年9月全国初のメンズ専門店をオープン。着物のいろはから専門の知識まで、ほどよく教えてくれるので、ビギナーにはぴったり。(『POPEYE』2002年11月25日号)
- c. 山小屋は山と人間の接点となり、登山文化を育む基地となつてくれた。(森村誠一『煌く誉生』)

(20)における「利益・恩恵の受け手」はこの文の書き手個人である。一方、(21)a.では書き手を含む患者全般、b.では書き手を含む客全般、c.で

は書き手を含む登山客もしくは広く人間一般であると考えられる。加えて c. は「利益・恩恵の与え手」が「山小屋」という無生物となっているために、さらに難易度が高まっている例である。

この「利益・恩恵の受け手」が特定の個人か、あるカテゴリーに含まれる人全般かについては、判断がつきにくい場合もあり、前後文脈を 100 語に増やした上で再検索し、確認したものも多かった。そのため、検証に際しては、(20) のように利益・恩恵の与え手、受け手ともに特定の個人であることが明示的な用例（初級レベルで導入されるタイプの用例）を数えたところ、データ総数 468 件中 222 件（47.4%）という結果になった。それ以外の 246 件（52.6%）は、(21) に見られるように非常にバリエーションが豊富で、学習者が産出するには難しいと思われるものも多かった。

4.5 主語が恩恵を施す意図を持たない用例（B3 型）の特徴

前節までのコーパス調査により、以下のことが明らかになった。

- 1) 主語名詞句が恩恵を施す意図を持たない用例（B3 型）⁽⁷⁾ が、「てくれる」構文全体のおよそ 4 分の 1 を占めている。
- 2) ニ格を取る動詞は、「てくれる」の前項に生起しやすい傾向を持つ。
- 3) 「利益・恩恵の与え手（主語名詞句）」が「物」「植物」「動物」となる用例が、全体のおよそ 2 割を占めている。
- 4) 「利益・恩恵の受け手」が特定の個人ではなく、あるカテゴリーに含まれる人全般となる用例が、およそ半数を占めている。

初級レベルでは、「太郎が私に日本語を教えてくれた」のように利益・恩恵の与え手、受け手ともに特定の個人で、与え手が明確な恩恵意図を持つ用例を中心に「てくれる」構文が導入される。しかし、実際の用例では、

主語が無生物の場合や人であっても恩恵意図を持たない場合、さらには恩恵の受け手が広く人間一般である場合など、様々なバリエーションを持つことが明らかになった。

そこで、本節では学習者にとって非用となりやすいB3型に絞り、主語の属性別に用例を整理、分析していく。

4.5.1 主語が恩恵を施す意図を持たない「人」の場合

「人」が恩恵を施す意図を持たずに行うことが、受け手にとっては利益・恩恵となる用例を以下に示す。

- (22) 「とにかく生きていてくれさえすればいい」とも考えた時期に比べ、現在は「精神的に落ち着いている」。(『西日本新聞』2004年2月15日朝刊)
- (23) 心配された肝臓への転移は術前に、放射線診断医が血管腫と診断してくれた。血管腫ならありふれた良性腫瘍だから、今回の癌とは関係がない。(『週刊現代』2003年9月20日号)
- (24) フィーゴが移籍で10番が空くのでできればジダンが付けてくれれば…！(Yahoo!知恵袋)

(22) は子育てに失敗したと話す親が、娘の過去の状態を振り返っている文脈である。娘は恩恵意図を持って生きていたわけではないが、親はそのことをありがたく受け止めていたことが分かる。(23) は病名の告知の文脈である。医師は恩恵意図を持って血管腫と診断しているわけではない。しかも病気が判明したにもかかわらず、それが悪性腫瘍でなかったことに感謝して患者が「てくれる」構文を使用している点は興味深い。(22)、(23) は特定の個人が恩恵の受け手となっているが、(24) ではあるサッカー選手のファン全般が恩恵の受け手となっていると考えられる。この用

例からは、自分が応援する選手に10番の背番号を付けてほしいと願うファンの気持が伝わって来る。このように、応援する選手や歌手、俳優の行為に恩恵性を見出すファンの用例は「ドラマに出てくれる」「ベストアルバムを出してくれる」「活躍してくれる」等、複数見られた。

4.5.2 主語が恩恵を施す意図を持たない「組織」の場合

前項で見た「人」と同様、ある「組織」が恩恵を施す意図を持たずに行うことが、受け手にとっては利益・恩恵となる用例を以下に示す。

- (25) 本当にどこかの広告代理店がこんな「ハリウッド・クラシック映画祭」を開いてくれないものか。(『毎日新聞』2001年1月21日朝刊)

(25) から、映画祭が開催された場合、広告代理店に恩恵意図はないものの、映画ファンがそこに恩恵性を見出すであろうことが窺える。

4.5.3 主語が「動物」の場合

「動物」が行うことが、受け手にとっては利益・恩恵となる用例を以下に示す。

- (26) 最近、シャミセンとファーセン、二匹をお風呂に入れるとクタクタになりますよ。(略) つか、あんた達、もうすこし大人しくお風呂に入ってくれないもんかな。(Yahoo! ブログ)
- (27) トキの絶滅は時間の問題であり、すでに「とき遅し」です。環境問題をないがしろにしていると「明日は我が身」だということを、トキはわれわれ人間に教えてくれています。(中村幸昭『鳥羽水族館館長のジョーク箱—アッと驚く動物たちの知恵』)

(26) の「てくれる」構文からは、ペットが大人しくお風呂に入ることが飼い主の利益・恩恵につながることが窺える。一方、同じ動物を主語に持ちながら、(27) ではトキが恩恵意図を持って人間に教えているように解釈できる。ここではトキが擬人化され、恩恵意図を有することができる有生物として、環境問題に関する知識を人間に授与するという B1 α 型の構文型を取っていると考えられる。2.2 の (13) で示した「自然が人々に豊かな恵みを与えてくれる」という用例にも同じことが言える。人間以外が主語になる構文型は B3 型に限られていたが、擬人化の場合は例外になると考えられる。

4.5.4 主語が「植物」の場合

「植物」の状態や変化が、受け手にとっては利益・恩恵となる用例を以下に示す。

- (28) 北側の道路沿いに植えてあるモミの木が鮮やかな黄緑色の新芽を吹き始めました。昨年は夏の猛暑で葉が少し茶色くなり、夏以降元気がなかったので心配していましたが、しっかり新芽を吹いてくれて安心しました。(Yahoo! ブログ)

- (29) 花見時には桜のトンネルが迎えてくれる。(『家庭画報』2001年7月号)

4.2 の (19) で「花が咲く」ではなく「花を咲かせる」という使役形が用いられている用例を見たが、(28) も「新芽が出る」の代わりに「新芽を吹く」という他動詞を用いた上で「てくれる」構文にしている。ここでも使役形と同様に、植物の変化に対する感謝を表したいがために、植物の意図的行為であるかのように他動詞を用いて表現しているのではないだろうか。

また、(29) では「迎える」というプラスの評価性を持つ意志動詞が用いられている。ここでも (27) 同様、擬人化が施されている。

4.5.5 主語が「物」の場合

「物」の状態や変化が、受け手にとっては利益・恩恵となる用例を以下に示す。

- (30) 別に爆売れしてくれなくても良いですが、もうちょっと日本でも市民権を確保できる程度に売れてくれると良いかなあ？
(Yahoo! ブログ)
- (31) Window Media Player で移すのなら勝手に CD-audio 形式にしてくれます。(Yahoo! 知恵袋)
- (32) ヨネックス独自の特殊凸凹シリコンが内蔵された手首用のサポーターは、手首の過度な伸びを抑えることで、しっかりホールドしてくれる。(『Tarzan』2004 年 3 月 24 日号)
- (33) 後藤さんの理想はほかの旅館にも受け入れられ、やがて、黒川全体が一つの生命体のように都会人の心を癒してくれる理想郷となったのだ。(『家庭画報』2001 年 7 月号)

(30) は自分が好きなソフトがもう少し売れてほしいという使用者の願望を表している。ここには (24), (25) で示したサッカーファンや映画ファンの用例と共通するものがある。

「物」が主語になる場合、恩恵を付与する主語となり得るだけの、人間にとって好ましい特徴が見られる。一つは、人間の役に立ち、利益をもたらす道具、機器としての「物」である。(31) は便利な機器に対する感謝の気持ちが「てくれる」構文で表されている。その機器に意志や自主性を読み取るかのように「勝手に」という副詞が使用されている点も興味深

い。(32)はスポーツ用のサポーターについて書かれたものであるが、商品説明には使用者の視点から「てくれる」構文が使われているものが数多く見られた。特徴のもう一つは、人間の心身を癒し、喜びや恵みを与える「物」である。(33)は黒川温泉が都会人の心を癒す好ましいものであることを、「てくれる」構文によって明示している。ここで「一つの生命体のように」というシミリ(simile)が使用されていることにも注目したい。「物」は本来なら恩恵を施す意図を持たないものであるが、(27)、(29)で見た「トキ」や「桜のトンネル」は擬人化により、恩恵意図を獲得していた。(33)に見られるシミリの使用は、「物」が擬人化に向かう中間段階と言えるかもしれない。

以上、B3型の特徴を見てきたが、主語が恩恵を施す意図を持たないにもかかわらず、我々人間がその事態に恩恵性を見出そうとする場合、他動詞や使役表現、さらには「勝手に」という副詞を用いたり、擬人化を施したりすることで、主語が意志を持ってその事態を生じさせているかのように把握する傾向があることが分かった。その上に「てくれる」構文を重ね、当該事態に対する感謝や好ましさを明示しているのである。こうした豊かな表現方法を、上級日本語学習者に向けて適切に導入していくことが望まれる。

5. まとめ

本稿では、「てくれる」構文を取り上げ、その中でも、特に学習者の非用が目立つ、主語が恩恵を施す意図を持たない用例に焦点を当て、分析を行った。分析に用いたBCCWJのデータからは、こうした用例が一定以上の割合で存在し、しかも非常に豊かなバリエーションを持っていることが明らかになった。今回の研究で得られた成果を基に、今後は上級レベルの学習者に向けた教材開発をしていきたいと考える。

《注》

- (1) 水谷 (1985) 他による造語。表面に現れる「誤用」に対し、「非用」は使用すべき場面で使用されず、表面化しない誤用を指す。
- (2) 下線は引用者による。
- (3) 人手により解析精度を高めたもので、構成されるレジスターは一般書籍、雑誌、新聞、白書、Yahoo! 知恵袋、Yahoo! ブログの6つである。
- (4) 下線は引用者による。以下の用例も同様である。
- (5) この「やる」は授受動詞ではなく、「する」、「行う」の意の動詞である。
- (6) 森田 (2002) は「てくれる」の意味を、感謝、許可・許容 (～(さ) せてくれる)、希求・懇願 (～てくれ)、迷惑、不利益の供与の5つに分類している。
- (7) B3 型には「人」が主語になる用例も含まれる。

参考文献

- 原田登美 2006. 「恩恵・利益を表す〈授受表現〉と〈敬意表現〉の関わり——特に「てくれる」を中心として文法的側面と社会言語学的側面から見る——」『言語と文化』10, 203-217.
- 近藤安月子 2009. 『自然な日本語を教えるために 認知言語学をふまえて』第4章 池上嘉彦・守屋美千代 (編) 東京: ひつじ書房.
- 近藤安月子・姫野伴子 2012. 『日本語文法の論点43——「日本語らしさ」のナゾが水解する——』東京: 研究社.
- 金股模 2009. 「てくれる」文の基本的意味と周辺の意味との関係」『言語科学論集』13, 95-110.
- 熊田道子 2001. 「待遇意識からみた「～てくれる」系表現と「～てもらう」系表現——恩恵の与え手が恩恵行為を行うことに対する配慮意識を中心に——」『国語学研究与資料』24, 15-28.
- 益岡隆志 2001. 「日本語における授受動詞と恩恵性」『言語』30, 5, 26-32.
- 水谷信子 1985. 『日英比較 話しことばの文法』東京: くろしお出版.
- 森田良行 2002. 『日本語文法の発想』東京: ひつじ書房.
- 澤田淳 2005. 「日本語の受益構文と「主体化」: 「～てくれる」構文と「～てやる」構文の比較」『日本認知言語学会論文集』5, 441-449.
- . 2007. 「日本語の授受構文が表す恩恵性の本質——「てくれる」構文の受益者を中心として——」『日本語文法』7, 2, 83-100.

- . 2014. 「日本語の授与動詞構文の構文パターンの類型化——他言語との比較対照と合わせて——」『言語研究』145, 27-60.
- 鹿浦佳子・小村親英 2016. 「話者の視点に立った「やりもらい表現」教授法：「感謝」を表す「くれる」と「依頼」を表す「もらう」」『関西外国語大学留学生別科日本語教育論集』26, 23-40.
- 高見健一・加藤鉦三 2003. 「「～てくれる／もらう」表現の基本的意味」『言語』32, 5, 96-101.
- . 2003. 「「～てくれる」と「～てもらう」の相違」『言語』32, 6, 96-101.
- 高見健一・久野暉 2002. 『日英語の自動詞構文』東京：研究社.
- 山田敏弘 2000. 「日本語におけるベネファクティブの記述的研究 第1回 ベネファクティブの視点の位置と方向性」『日本語学』11, 94-103.
- . 2004. 『日本語のベネファクティブ——「てやる」「てくれる」「てもらう」の文法——』東京：明治書院.
- 山橋幸子 1999a. 「受益表現「（-て）くれる」の機能と日本語教育」『比較文化論叢 札幌大学文化学部紀要』4, 79-96.
- . 1999b. 「てくれる」の意味機能——「てあげる」との対比において——」『日本語教育』103, 21-30.
- 由井紀久子 1996. 「動詞ヤル・クレルにおける意味の抽象化過程」『日本語教育』88, 25-34.

（原稿受付 2019年1月8日）